

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)柏原穂高線			
事業毎の通番		7	市町村名	安曇野市	箇所名(ふりがな)	上原(うえはら)		
事業概要	事業目的	当路線は安曇野市穂高地域と安曇野市堀金地域を結ぶ幹線道路であり、堀金地域から穂高地域への通勤車両の交通量が多い。しかし、当区間では穂高西小学校の通学路に指定されているが、歩道が未整備であるため、通学時の児童の安全が脅かされており、幅員狭小で車両通行の妨げとなっている。地域住民からも安全対策要望が高まっているため、歩道整備により歩行者の安全を確保し道路拡幅を行い車両通行の円滑化を図りたい。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法			
	関連する事業、計画等	-						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	穂高西小学校 通学者他 現況自動車交通量:3,647台/日						
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	1.4	国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=420m W=6.0(9.75)m			150,000		135,000	15,000
	年度事業内容(主な工種)	測量 一式			5,000		4,500	500
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される。車両通行の円滑化。					
		間接的効果(定量的・定性的)	通学路の最短化 通行車両の交通事故抑制 車両通行の円滑化。					
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 :あり ○交通結節点アクセス :バス路線 ○生活支援・観光振興 :穂高西小学校					評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 通学路合同点検実施予定 ○緊急輸送路の路線指定 : 無し ○地域指定 : 積雪地域					評価	C
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.41 ○事業期間 : 4年間 ○工法等の比較検討 : 今後行う予定 ○他事業との連携 : (主)塩尻鍋割穂高線_塚原 (一)有明大町線_宮城					評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 1件 ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : 該当しない ○歩道整備 : 未整備区間の通学路対策 ○現況の幅員、半径、勾配 : 5.5m未満					評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知 ○地域の取り組み : 協力的である。 ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている。 ○住民との協働 : 住民関与が低い事業。					評価	B
	部意見	事業の必要性、効率性が高いため、平成27年度から事業化したい。	行政改革課意見	必要性が認められる。		評価結果	総合評価	○ B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



位置図



標準横断面図



平面図

全体計画L=420m W=6.0(9.75)m

【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は、穂高西小学校の通学路であり、歩道がなく危険な状況であるばかりか、幅員狭小で線形が悪く車両通行の妨げとなっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元の地区から安曇野市を通じて歩道設置及び道路改築の要望が出されている。
③事業説明等の経緯	特になし
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	現道に歩道を設置し道路拡幅及び線形改良をすることで、住民生活環境を大きく変えることはない。
⑥地域活性化への影響と配慮	歩道が設置され道路改築されると、歩行者の安全が確保され車両通行が円滑になり、地域が活性化される。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 19'11"
	東経:E 137° 56'51"